

社是の精神が導く ムラタのCSR。

環境、社会、ガバナンス

それぞれに責任と自覚を持って行動する。

(Environment=環境)、S(Social=社会)、 に発揮して働けるような制度と風土を構築するこ G(Governance=企業統治)の3つの側面に配慮し とが大切だと考えています。また、事業の上でも、 て事業を展開していく必要があると考えています。

モノづくりをする企業として、環境負荷の低減は 大きなテーマです。温暖化対策のひとつCO2排出量 ガバナンス — 削減では、原単位削減目標を定めて、計画を上回る 成果を出してきました。また、セラミックコンデンサ の世界最小0.25×0.125サイズに示されるように、小 型・薄型・多機能の電子部品の供給を通じて省資源 化の実現に貢献しています。さらに新しい事業としてめていく所存です。 エネルギーの分野での取り組みにも着手しました。 自社の環境負荷低減と、事業を通じた貢献の両軸 で、環境対策を推進してまいります。

## 社会——

に注力しています。グローバルに事業を展開してお があります。環境に配慮し、人材の多様性を活かし、 り、世界中でさまざまな人が働いています。単に国組織の透明性を確保する、それらのアクションの 籍や性別の問題ではなく、多様なバックグラウンド 大本にある社是の精神を実践してまいります。

持続的に会社を成長させていくためには、Eをもつ人びとが、それぞれの個性や能力を十分 たとえば自動車の安全性の向上やヘルスケアの 利便性向上など、社会貢献度が高い分野への取 り組みも強化して参ります。

ガバナンスについては、昨年、コーポレートガバナ ンスコードが策定されましたが、当社としてはこれを 遵守するにとどまらず、組織と運営体制を不断に見直 し、地域と社会に開かれた企業としての存在価値を高

当社の社是は「これをよろこび感謝する人びととと もに運営する」と結ばれています。ムラタはあらゆる ステークホルダーとともにあります。これは、経済的 価値の向上だけではなく、社会との共生を大切にす 社会性に関しては、人材の多様性を確保すること る思想の表明です。当社のCSRの根底には、この思想

[CSR中期目標の策定について]

## CSRに関する中期目標を策定。 オールムラタで取り組みを推進。

CSR推進室、環境・安全部では環境や社会に対する めにPDCAをまわすマネジメントシステムの仕組みを 取組みなど、ムラタのCSR(企業の社会的責任)活動 構築していきます。多様な人材が活躍するための職場 を啓蒙、推進しています。2016年、ムラタは今後3年間 環境づくりや、経営理念を浸透させていく活動も、欠か の経営の方向性を示す中期構想2018を策定しました せない取り組みです。また、ムラタでは仕入先様などさ が、環境や社会に関するCSRの分野についても新たな
まざまな協力会社の皆様と関わりながらビジネスを行 中期目標を策定。経営計画とあわせ、CSRに関しても、っているため、サプライチェーンを通じCSRを浸透させ この中期目標をもとにさまざまな社会的要請に対応し る取り組みも強化していきます。 ていきます。

環境社会貢献活動についても継続して取り組んでい きます。特に、温暖化対策は企業に課せられた重要な 課題です。積極的に対策を講じて温室効果ガスの増 加を抑制していくことはもちろん、事業を通じた環境 貢献を強化していきたいと考えています。また、貴重 な資源として水への関心が世界的に高まってきてい ます。効率的な利用を追求するとともに、渇水や洪水 などのリスク評価や雨水排水管理の強化にも取り組 んでいきます。

社会性の分野では、グローバル課題に対応したコン プライアンスの基盤、リスクマネジメントを強化してい くことに加え、人権・労働に関する問題を未然に防ぐた

私たちはCSRに関するさまざまな活動を行う中で、 環境の分野では、地球温暖化対策、省資源・資源循 国内外のムラタの関係部署と連携しながら、お客様、 環、当社製品による環境貢献を重点テーマとし、従来 仕入先様、投資家の皆様、地域社会など、さまざまな からの環境負荷化学物質の削減や生物多様性保全、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを通 じて、日々ムラタに寄せられる期待を感じています。こ れらの期待に応え、ムラタが地域や社会にとって欠か せない存在であり続けるために、私たちも先を見据え ながら活動を進めていきたいと思います。

> 写真左より 株式会社村田製作所 管理グループ CSR推進室 韓□ 将幸 株式会社村田製作所 管理グループ 環境・安全部 中田佳代

ムラタに寄せられる 期待に、さらに 応えていくために。

